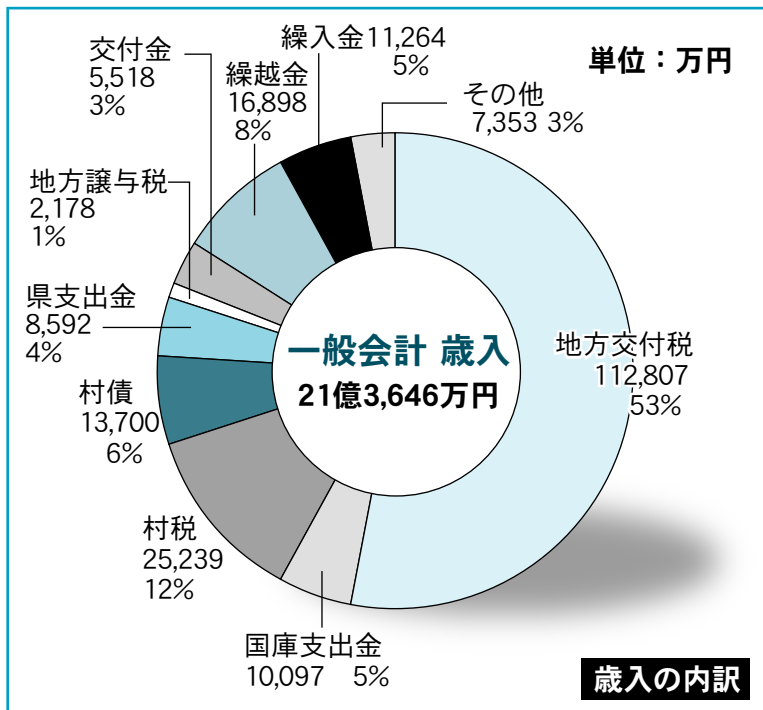


平成29年度決算報告

平成29年度決算が9月に開催された村議会定例会で認定されました。一般会計では、歳入総額が21億3,646万1,677円、歳出総額が19億7,904万8,322円で、差し引き1億5,741万9,335円の黒字決算となり、平成30年度へ繰り越しました。これは、平成28年度と比較すると、歳入で2億4,26万4,150円（8・73%）、歳出で1億9,270万4,301円（8・87%）の減額となっています。

平成29年度一般会計の状況

歳入総額 21億3,646万円
 歳出総額 19億7,904万円
 差し引き 1億5,742万円
 の黒字決算となりました。



歳入

平成29年度は、28年度と比較して、歳入が約2億4,26万4,150円

の減額となり、昨今の日本における厳しい財政状況のなか、本村は望ましい行政運営を目指しました。その結果、28年度と比

較して、国庫支出金や地方交付税、村の要である村税等において減額となりましたが、県支出金のほか、各種交付金等の費用で増額がみられました。主な費目の概要は次のとおりです。

地方交付税は、財源不足を補うため国から交付され、村の歳入の骨格となっており、28年度に比べ約3618万円の減額となりました。

村税は、村民の皆さんから納めていただいた固定資産税や住民税で、村の自主財源のほとんどを占めているものです。28年度に比べ約136万円の減額です。

村債は、村が事業を行ううえで、財源不足を補うための借入金で、将来交付税措置される有利な特例地方債（過疎対策事業債など）を借入れています。こちらは28年度に比べ約1億7080万円の減額となりました。

繰入金は、主に財源不足を補うために基金を取り崩して繰り入れ

特別会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
国民健康保険	5億9,116万円	5億1,994万円	7,122万円
介護保険	4億5,675万円	4億4,049万円	1,626万円
浄化槽設置管理	4,163万円	3,734万円	429万円
後期高齢者医療	3,580万円	3,541万円	39万円
簡易水道	1億706万円	1億138万円	568万円

たものです。こちらは28年度に比べ約1958万円の増額となりました。

繰越金は、前年度から引き継がれる費目であり、28年度に比較して約1325万円の増額となりました。